

2011年度委員会事業報告書

地域社会貢献室 室長 服部哲也
責任あるまちづくり委員会 委員長 伊藤 康

1. 委員会開催日 (16回)

1 / 5 1 / 25 2 / 22 3 / 14 4 / 5 4 / 26 5 / 24
6 / 16 7 / 19 8 / 9 9 / 15 9 / 22 10 / 11 10 / 18
11 / 16 12 / 16

2. 事業報告

①例会の担当	10月20日
②ローカルマニフェスト型公開討論会の担当	4月15日
③西尾張6JCじゃがいもの担当	10月13日
④わんぱく相撲(5月例会)の参画	5月21日
⑤JCデー(8月例会)への参画	8月13日
⑥新入会員の拡大	通年

3. 委員会メンバー

伊藤 康 宮松大志 伊藤 豊 中垣 功 寺西一英 平澤建太郎 滝川林弥

4. 反省点及び申し送り事項

当委員会では、地域住民に「まちづくり」の大切さを実感していただき、自分たちの手でまちをつくるという強い意識が一人ひとりに芽生えるように事業を展開してまいりました。ローカルマニフェスト型公開討論会では、地域住民に一人でも多くの方に討論会の存在や内容を広め、参加していただくための行動を起こし、候補者の方々のまちに対するビジョンを知っていただき、まちの未来について真剣に考えて頂けたものと感じております。また、LOMメンバーには公開討論会だけではなく地域住民によるまちづくりの大切さを体感して頂くために、仮想市民討議会を通して「自分たちの手でまちをつくる」という強い意識を持って頂き、この様な活動の中で明るい豊かな社会を築くためには多くの地域住民の声が必要であり、地域住民の意識も変わっていかねばならないと気づいて頂ました。しかし、多くの地域住民にまちづくりに関する意識変革を伝えるという部分では満足する結果は出せなかった事を反省しております。

今後も青年会議所が地域のまちづくり事業を継続して行う事により、我われのまちが発展し活気あふれるまちになっていくと考えます。そのためには我われが高い志を持ち住民に対し先頭に立って自ら積極的にまちづくりに関わり行動することが地域住民によるまちづくりへと繋がると確信し、申し送りとさせていただきます。

5. 委員長所見

この一年間、まちづくりをテーマに委員会メンバーと苦楽を共にしながら取り組んでまいりました。非常に悩み苦悩し続けた日々が続きましたが、がむしゃらに活動した1年間だと感じております。特に委員長としての努力や姿勢を見せる事で、委員会メンバーは信頼してくれていると

いう事を感じさせられました。私自身一年間まちづくりというテーマに対して色々なアイデアを委員会内でも出し合い議案を作る中で、たくさんの苦勞や挫折がありましたが、委員会メンバーと共に行動し協力する事で自信を持つ事ができました。しかし理事会では自分の言葉で表現することが出来ずに、何度も進行を妨げてしまったことを心からお詫び申し上げます。

今後も我われが行ってきた活動が継続的に行われる事により、多くの地域住民がまちの未来へ向かって希望を持って行動するものだと確信しています。最後になりますが委員会メンバーの支えで1年間職務を終えることができました。当委員会の担当する事業、例会にご協力いただきましたメンバーの皆様に心から感謝申し上げます。

6. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	300,000	事業費	285,394	②	300,000	②	285,394
合 計	300,000	合 計	285,394	合 計	300,000	合 計	285,394